

館山市公共交通 アンケート報告書

1. 調査の趣旨

館山市民の重要な移動手段である、公共交通の維持は、館山市としても重要な課題です。また、通勤圏・通学圏を拡大しての定住人口の増加を目指しております。そこで、公共交通の現状分析と付随する課題の抽出のため、本調査を実施いたしました。

2. 調査の方法

① 調査対象

市内に居住する16歳以上65歳以下の市内在住者の中から、2,000人を無作為抽出（住民基本台帳からの無作為抽出、男女別、年齢別、地域別を考慮）

② 調査方法

郵送による発送・回収（無記名）

③ 調査時期

平成27年2月6日～2月25日

④ 回収状況

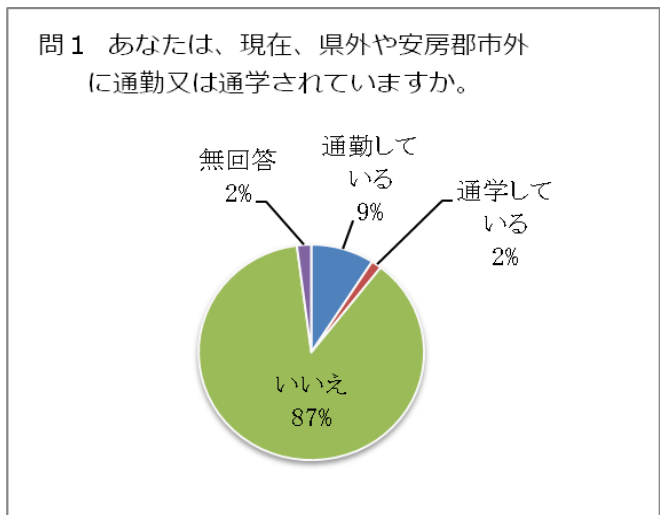
- ・ アンケート対象者数：1,990人（10通の返戻有り）
- ・ 有効回答数：872人
- ・ 有効回答率：43.8%

3. 調査結果

(1) 遠距離通勤・通学について

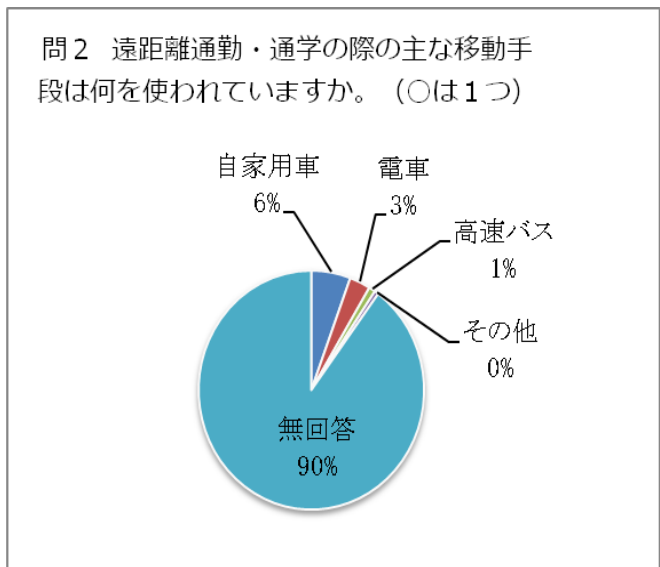
問1 あなたは、現在、県外や安房郡市外に通勤又は通学されていますか。

選択項目	人数	構成比
通勤している	79	9.0%
通学している	13	1.5%
いいえ	762	87.4%
無回答	18	2.1%
合計	872	100.0%



問2 遠距離通勤・通学の際の主な移動手段は何が使われていますか。(○は1つ)

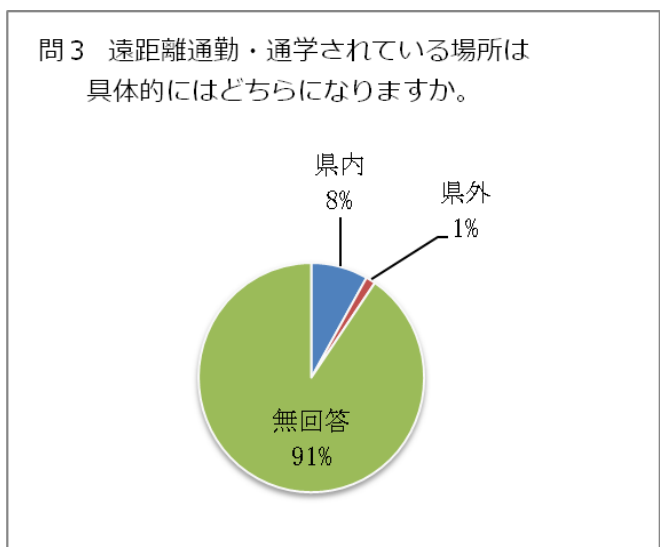
選択項目	人数	構成比
自家用車	49	5.6%
電車	26	3.0%
高速バス	8	0.9%
その他	5	0.6%
無回答	784	89.9%
合計	872	100.0%



※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問3 遠距離通勤・通学されている場所は具体的にはどちらになりますか。

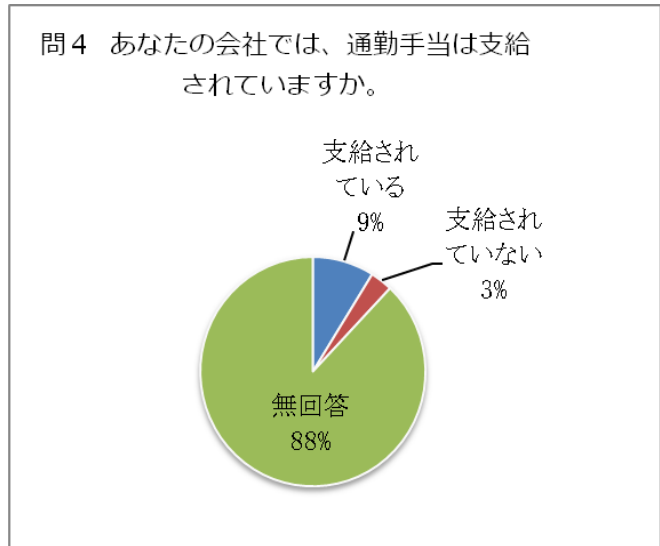
選択項目	人数	構成比
県内	71	8.1%
県外	12	1.4%
無回答	789	90.5%
合計	872	100.0%



※「遠距離通勤・通学の場所」の詳細については、自由記述をご参照ください。

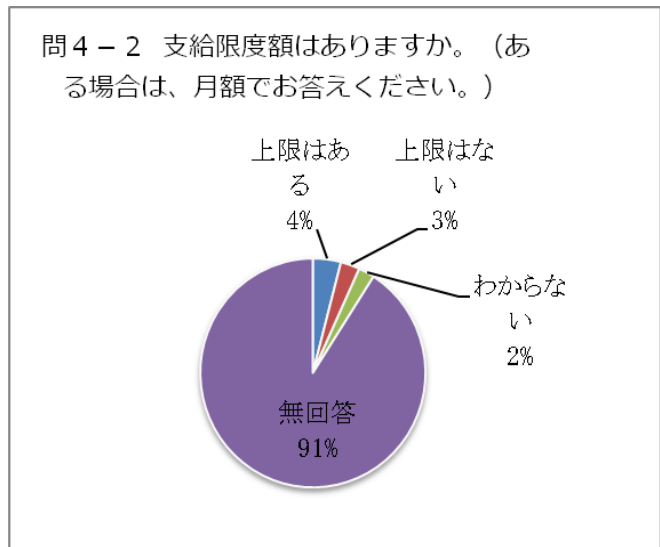
問4 あなたの会社では、通勤手当は支給されていますか。

選択項目	人数	構成比
支給されている	77	8.8%
支給されていない	28	3.2%
無回答	767	88.0%
合計	872	100.0%



問4-2 支給限度額はありますか。
(ある場合は、月額でお答えください。)

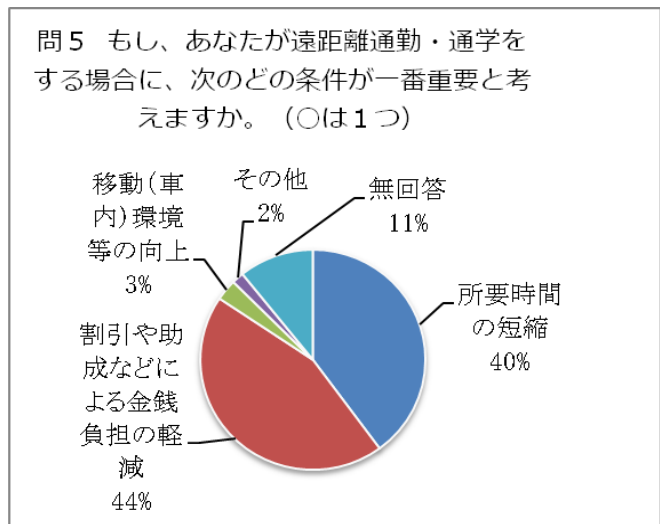
選択項目	人数	構成比
上限はある	35	4.0%
上限はない	24	2.8%
わからない	20	2.3%
無回答	793	90.9%
合計	872	100.0%



※「支給限度額」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問5 もし、あなたが遠距離通勤・通学をする場合に、次のどの条件が一番重要と考えますか。(○は1つ)

選択項目	人数	構成比
所要時間の短縮	348	39.9%
割引や助成などによる金銭負担の軽減	388	44.5%
移動(車内)環境等の向上	27	3.1%
その他	15	1.7%
無回答	94	10.8%
合計	872	100.0%



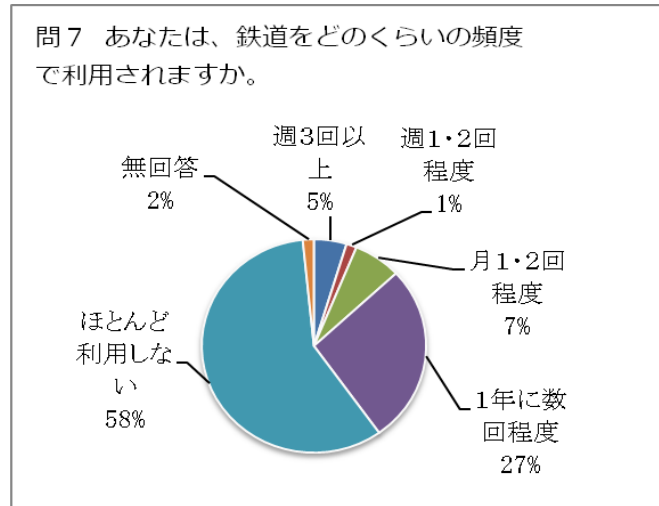
※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問6 自由記述をご参照ください。

(2) 鉄道について

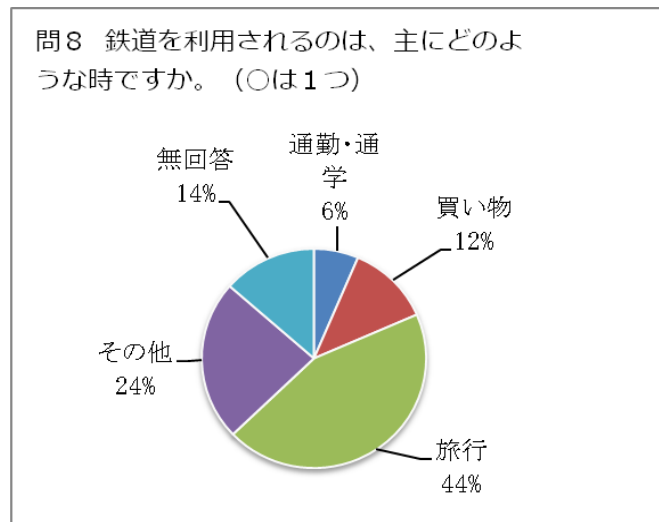
問7 あなたは、鉄道をどのくらいの頻度で利用されますか。

選択項目	人数	構成比
週3回以上	41	4.7%
週1・2回程度	13	1.5%
月1・2回程度	60	6.9%
1年に数回程度	236	27.1%
ほとんど利用しない	508	58.2%
無回答	14	1.6%
合計	872	100.0%



問8 鉄道を利用されるのは、主にどのような時ですか。(○は1つ)

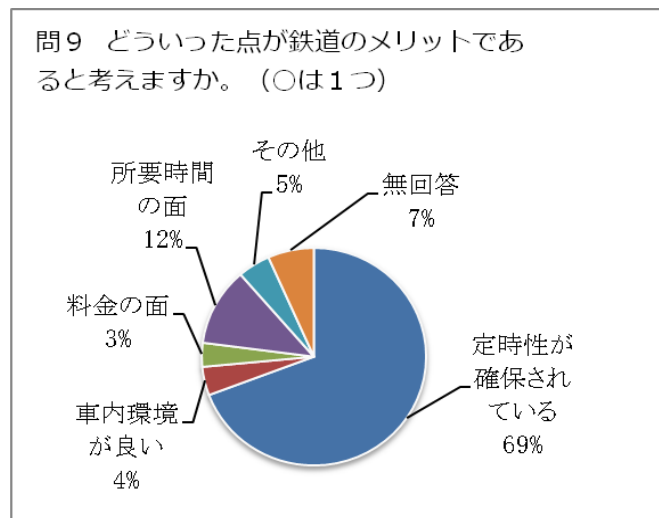
選択項目	人数	構成比
通勤・通学	56	6.4%
買い物	105	12.1%
旅行	387	44.4%
その他	206	23.6%
無回答	118	13.5%
合計	872	100.0%



※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問9 どういった点が鉄道のメリットであると考えますか。(○は1つ)

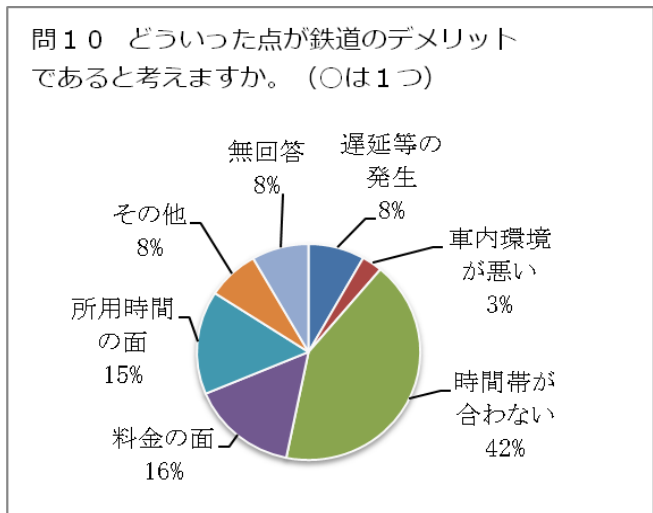
選択項目	人数	構成比
定時性が確保されている	604	69.3%
車内環境が良い	37	4.2%
料金の面	31	3.6%
所要時間の面	101	11.6%
その他	41	4.7%
無回答	58	6.6%
合計	872	100.0%



※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問10 どういった点が鉄道のデメリットであると考えますか。(○は1つ)

選択項目	人数	構成比
遅延等の発生	71	8.1%
車内環境が悪い	26	3.0%
時間帯が合わない	367	42.1%
料金の面	135	15.5%
所要時間の面	135	15.5%
その他	66	7.6%
無回答	72	8.2%
合計	872	100.0%



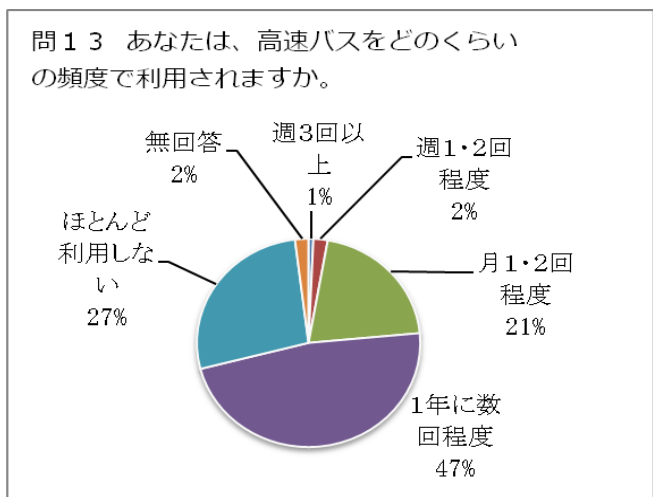
※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問11・12 自由記述をご参照ください。

(3) 高速バスについて

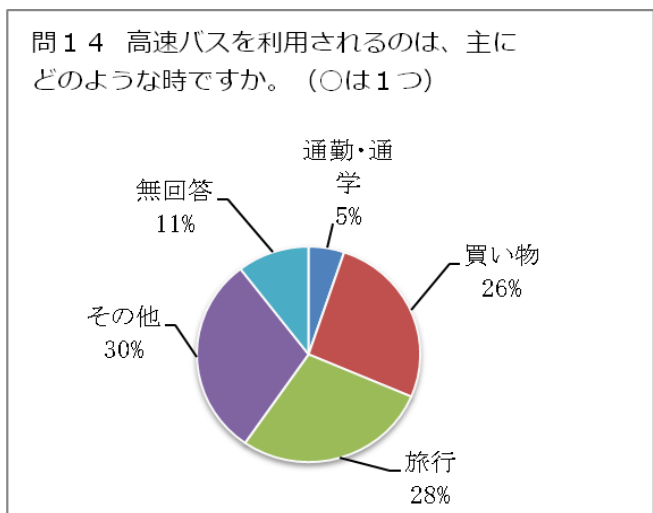
問13 あなたは、高速バスをどのくらいの頻度で利用されますか。

選択項目	人数	構成比
週3回以上	6	0.7%
週1・2回程度	18	2.1%
月1・2回程度	181	20.7%
1年に数回程度	414	47.5%
ほとんど利用しない	236	27.1%
無回答	17	1.9%
合計	872	100.0%



問14 高速バスを利用されるのは、主にどのような時ですか。(○は1つ)

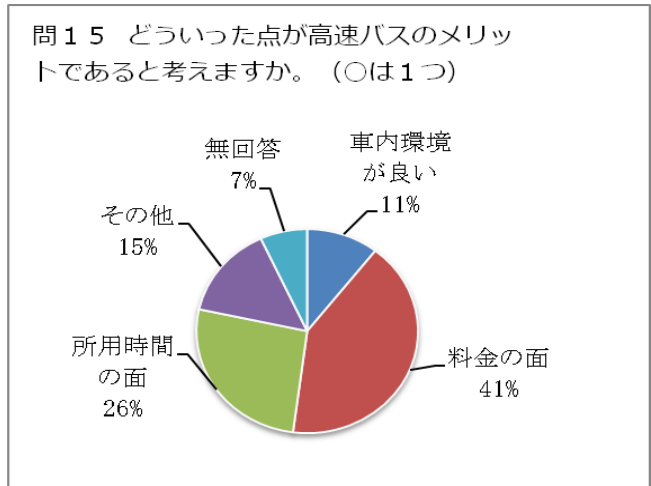
選択項目	人数	構成比
通勤・通学	45	5.2%
買い物	229	26.3%
旅行	246	28.2%
その他	261	29.9%
無回答	91	10.4%
合計	872	100.0%



※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問 15 どういった点が高速バスのメリット
であると考えますか。(○は1つ)

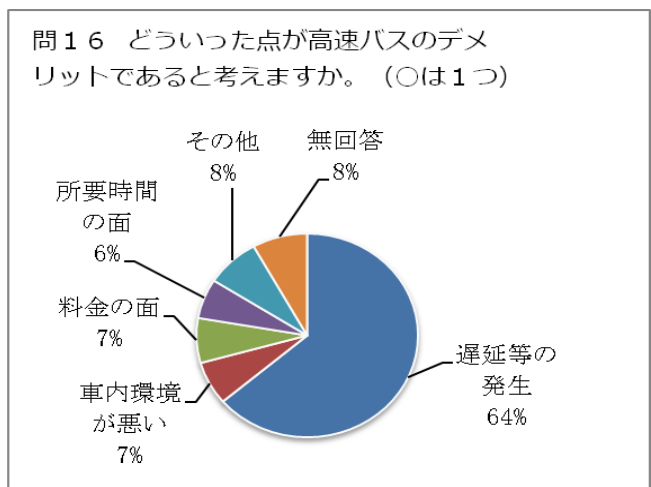
選択項目	人数	構成比
車内環境が良い	92	10.5%
料金の面	362	41.5%
所要時間の面	230	26.4%
その他	128	14.7%
無回答	60	6.9%
合計	872	100.0%



※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

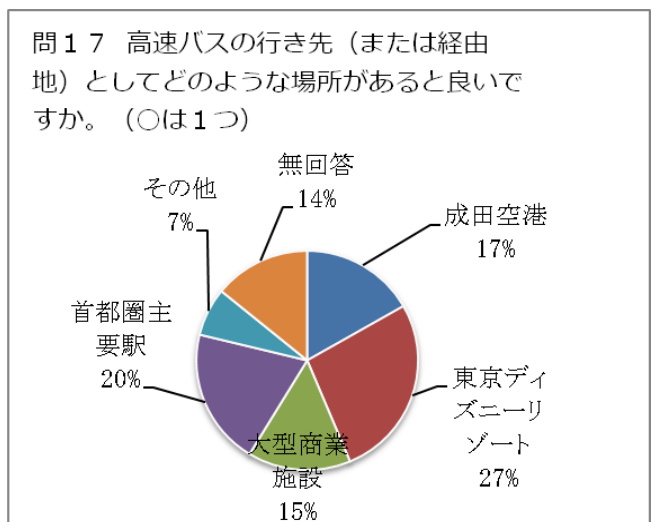
問 16 どういった点が高速バスのデメリット
であると考えますか。(○は1つ)

選択項目	人数	構成比
遅延等の発生	556	63.8%
車内環境が悪い	60	6.9%
料金の面	62	7.1%
所要時間の面	55	6.3%
その他	69	7.9%
無回答	70	8.0%
合計	872	100.0%



問 17 高速バスの行き先としてどのような場
所があると良いですか。(○は1つ)

選択項目	人数	構成比
成田空港	146	16.7%
東京ディズニー リゾート	235	27.0%
大型商業施設	131	15.0%
首都圏主要駅	175	20.1%
その他	62	7.1%
無回答	123	14.1%
合計	872	100.0%



※「首都圏主要駅名」・「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

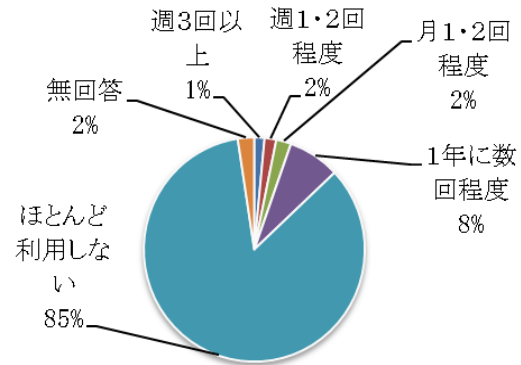
問 18 自由記述をご参照ください。

(4) 路線バスについて

問 19 あなたは、路線バスをどのくらいの頻度で利用されますか。

選択項目	人数	構成比
週3回以上	13	1.5%
週1・2回程度	15	1.7%
月1・2回程度	19	2.2%
1年に数回程度	66	7.6%
ほとんど利用しない	738	84.6%
無回答	21	2.4%
合計	872	100.0%

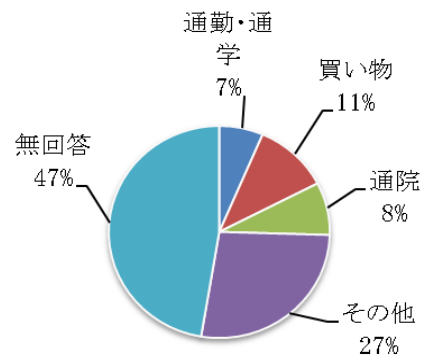
問 19 あなたは、路線バスをどのくらいの頻度で利用されますか。



問 20 路線バスを利用されるのは、主にどのような時ですか。(○は1つ)

選択項目	人数	構成比
通勤・通学	56	6.4%
買い物	96	11.0%
通院	70	8.0%
その他	237	27.2%
無回答	413	47.4%
合計	872	100.0%

問 20 路線バスを利用されるのは、主にどのような時ですか。(○は1つ)

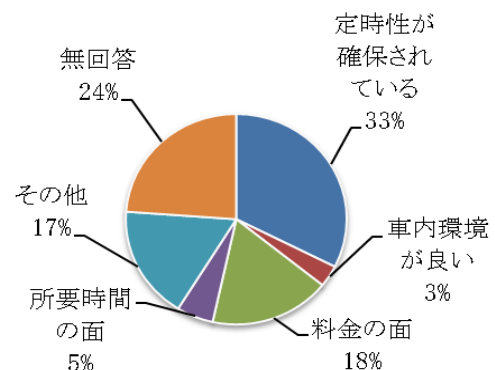


※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問 21 どういった点が路線バスのメリットであると考えますか。(○は1つ)

選択項目	人数	構成比
定時性が確保されている	283	32.5%
車内環境が良い	29	3.3%
料金の面	154	17.7%
所要時間の面	47	5.4%
その他	151	17.3%
無回答	208	23.8%
合計	872	100.0%

問 21 どういった点が路線バスのメリットであると考えますか。(○は1つ)

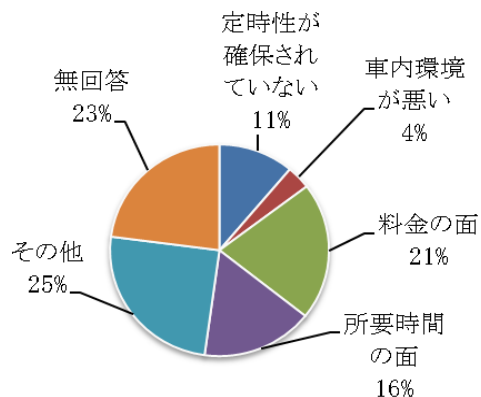


※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問 22 どういった点が路線バスのデメリットであると考えますか。(○は1つ)

選択項目	人数	構成比
定時性が確保されていない	97	11.1%
車内環境が悪い	31	3.6%
料金の面	183	21.0%
所要時間の面	144	16.5%
その他	217	24.9%
無回答	200	22.9%
合計	872	100.0%

問 22 どういった点が路線バスのデメリットであると考えますか。(○は1つ)

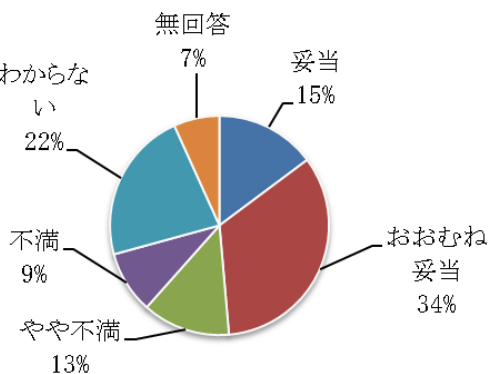


※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問 23 年間で、数百万円の税金を投入して、路線バスを維持することは、妥当と考えますか。

選択項目	人数	構成比
妥当	129	14.8%
おおむね妥当	295	33.8%
やや不満	113	12.9%
不満	80	9.2%
わからない	196	22.5%
無回答	59	6.8%
合計	872	100.0%

問 23 年間で、数百万円の税金を投入して、路線バスを維持することは、妥当と考えますか。



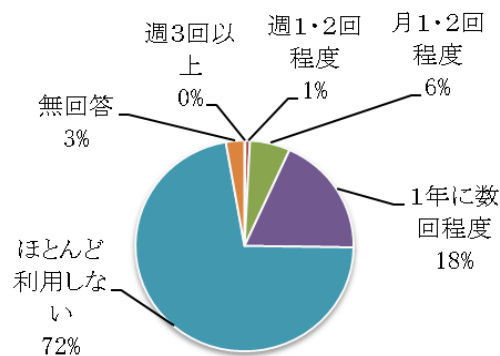
問 24 自由記述をご参照ください。

(5) タクシーについて

問 25 あなたは、タクシーをどのくらいの頻度で利用されますか。

選択項目	人数	構成比
週3回以上	1	0.1%
週1・2回程度	6	0.7%
月1・2回程度	52	6.0%
1年に数回程度	161	18.5%
ほとんど利用しない	628	72.0%
無回答	24	2.7%
合計	872	100.0%

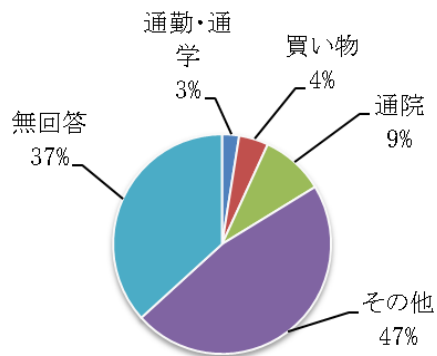
問 25 あなたは、タクシーをどのくらいの頻度で利用されますか。



問 26 タクシーを利用されるのは、主にどのような時ですか。(○は1つ)

選択項目	人数	構成比
通勤・通学	22	2.5%
買い物	38	4.4%
通院	82	9.4%
その他	410	47.0%
無回答	320	36.7%
合計	872	100.0%

問 26 タクシーを利用されるのは、主にどのような時ですか。(○は1つ)



※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

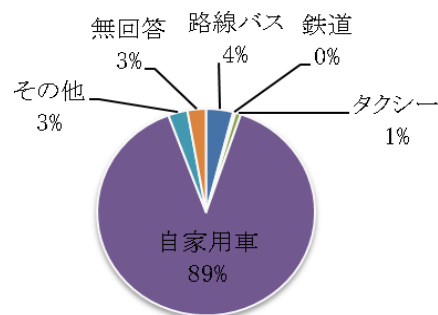
問 27 自由記述をご参照ください。

(6) 公共交通全般について

問 28 あなたが市内を移動するにあたって最も御利用しやすい交通手段は何でしょうか。(○は1つ)

選択項目	人数	構成比
路線バス	35	4.0%
鉄道	3	0.3%
タクシー	7	0.8%
自家用車	778	89.2%
その他	25	2.9%
無回答	24	2.8%
合計	872	100.0%

問 28 あなたが市内を移動するにあたって最も利用しやすい交通手段は何でしょうか。(○は1つ)

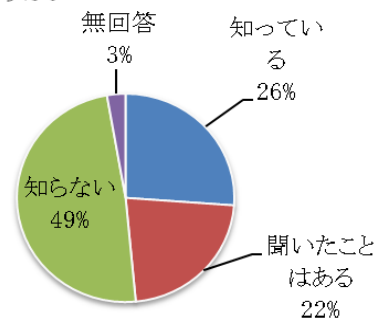


※「その他」の詳細については、自由記述をご参照ください。

問 29 65歳以上の方が運転免許証を自主返納することで、路線バスやタクシーの割引の適用を受けることができる制度があることをご存じですか。

選択項目	人数	構成比
知っている	228	26.1%
聞いたことはある	195	22.4%
知らない	425	48.7%
無回答	24	2.8%
合計	872	100.0%

問 29 65歳以上の方が運転免許証を自主返納することで、路線バスやタクシーの割引の適用を受けることができる制度があることをご存じですか。



問 30 自由記述をご参照ください。

4. アンケート結果概要

○遠距離通勤・通学について

問1より、およそ1割の方が安房郡市外に通勤又は通学をしていることが伺えます。

また、問3より、その内の12名は県外ということが伺えます。

問5より、所要時間と金銭負担が2つ並んだ大きな課題であることが伺えます。

自由記述では、料金面より、朝夕の時間帯の本数の少なさを指摘する声の方が多くありました。

○鉄道について

問7では、半数以上の58%の方が、「ほとんど利用しない」と答えています。

問9で、69%の方が「定時性が確保されている」という点をメリットとして挙げているが、反面、自由記述には、「本数が少ない」という意見が多くありました。

○特急の運転取止めについて

586名の方（回答者の67%）が自由記述をしていることから注目度の高さが伺えます。

自由記述の中では、「仕方がない」「高速バスがあるので問題ない」といった意見の方がやや多いが、廃止を問題視する意見の中には、「実際の通勤が困る」「こども・妊婦はバスより特急でないと」といった切実な意見や、観光面でのダメージを気にする意見、自身が鉄道を必要とするようになった時を不安がる意見など、多種多様な意見が出ているのが特徴的です。

また、特急を懐かしんだり、廃止を単純にさみしがるような主観的な意見も多くありました。

○高速バス

問13より、月に1・2回以上利用する人数は鉄道の約2倍の23%で、「ほとんど利用しない」と答えたのは鉄道の半数以下の27%となっています。

問15・16より、メリットとして一番多く選択されているのが、「料金の面」で、逆にデメリットとして選択されているのは「遅延等の発生」が63%と圧倒的に多くなっております。

自由記述では、高速バスに対する好意的な意見が比較的多くありましたが、館山駅等への駐車場設置を求めるような声も多数ありました。

○路線バス

問19よりで、「ほとんど利用しない」と回答した方が84%と、鉄道の58%、高速バスの27%を大きく上回っており、「1年に数回程度」と合わせると、9割を超えています。

問21・22のメリット・デメリットともに無回答者も多く、市民の関心があまり高くないことが伺えます。

問23の、路線バスへの税金による補助については、「妥当」・「おおむね妥当」と回答した方が48%と比較的多く、路線維持に対する必要性を感じているととれますが、自由記述では、「年老いた時」、「お年寄りの為には」など、自分以外のための又は自身の将来の不安からの必要性を述べる意見が大多数で、問19の利用頻度の設問とも併せ、現状の自身の問題としては捉えてないことが推測できます。

また、バスの小型化については、自由記述で、70名程の方が記述しており、現状のサイズのバスの運行状況に不満を持っていることが伺えます。

○タクシー

問25で、「ほとんど利用しない」と回答した方が72%で、路線バスに続いて多い結果となっており、「1年に数回程度」と合せると、路線バスと同様に9割を超えています。

「利用するのは主にどのような時か」という問いに対しては、「その他」が47%と最も多く、その他の内容としては、自由記述で「飲酒時」と回答した方が4割近くおり、日常的な利用ではないことが伺えます。

自由記述では、「料金が高い」という意見と「運転手の対応」に対する不満の意見が主な意見として出ております。

○総括

公共交通の必要性を述べる意見のほとんどが自身のためではなく、ご年配の方を中心とした、実際の利用者や自身が車を運転できなくなった時などの将来を考えての意見でした。

本アンケートの結果を踏まえて、今後詳細な分析をすることで、地域の公共交通の確保維持、また、通勤・通学圏の拡大のための方策を考えていきたいと思っております。